



Ktunes
RACING

🇯🇵 M.NITTA 🇯🇵 Y.NAKAYAMA

Super GT 2018 Fuji Official Test Report 2018/3/24-25

Test Days Summary

決勝レースを見据えたプログラムを消化したK-tunes Racing LM corsa
今回の公式テストも新田守男選手のみだったが
合計で191周を走行し、開幕戦に向けてセットアップの道筋を立てる

Test Days

わずか1週間前の3月17日(土)、18日(日)に行なわれた岡山国際サーキットでの公式テストでは、新田守男選手がほぼ初走行となったにも関わらず、2日目にGT300クラスの29台中11番手のタイムをマークして、想定していたテストプログラムを順調に終えたK-tunes Racing LM corsa。

1週間のインターバルを経て開催された富士スピードウェイでの公式テストも、第2ドライバーとなる中山雄一選手が、ニュルブルクリンクでのレース参戦により欠席となり、新田選手が担当することになった。

第2回となった富士スピードウェイでの公式テストは、3月24日(土)と25日(日)の2日間に渡って開催。走行時間は、両日ともに2時間のセッションが2回あり、2日間で8時間の走行枠が設けられていた。

まず、1本目のセッションは24日の10時からスタート。天気は予報通りの曇り空で、一時的に陽が差すこともあったが気温は10℃前後と、この時期にしては寒い一日となった。

K-tunes RC F GT3は、持ち込みのセットアップを確かめるとともに周回を重ねていく。8周を走行した時点でピットに戻り、マシンの確認を行ない再びコースイン。タイヤのウォームアップが終わると徐々にタイムアップし、14周目に1回目のセッションのベストタイムとなる1分37秒940を記録。



Test Days

1 時間が経過した時点で、27 台がエントリーした GT300 クラスの中で 8 番手となる。その後は赤旗によるセッション中断もあったが、順調にプログラムを消化。結果として 46 周を走行し、1 分 37 秒 940 のベストタイムにより 12 番手となった。

2 時間を空けて 14 時からスタートした 2 本目のセッション。K-tunes RC F GT3 は、5 ～ 8 周前後を走行してピットインを繰り返しながら、持ち込まれたタイヤの比較を行ないつつ、セットアップを進めた。3 回に及ぶ赤旗中断が発生したために、セッションは予定していた終了時間の 16 時から 10 分延長されることとなった。2 本目のセッションは合計で 50 周を走行し、ベストタイムは午前中を上回る 1 分 37 秒 727 をマーク。順位は 15 番手となった。

公式テスト 2 日目を迎えた富士スピードウェイは快晴で、多くの来場者を集めて 3 回目と 4 回目のセッションが実施された。この日は新田選手のコメントにより、リアのトラクション性能を向上させるセットアップを施すことと、前日と同様にタイヤの比較が行なわれた。

まず、9 時 15 分から 2 時間に渡って行なわれた 3 本目のセッション。中盤以降は決勝レースのシミュレーションも含めた 10 周ほどの連続走行を実施したが、前半は 5 周程度のサイクルでピットインとアウトを繰り返した。合計で 52 周を走行し、32 周目にマークした 1 分 38 秒 139 がベストタイムで、順位は 20 番手となった。

13 時 45 分からの 4 本目のセッションも細かくピットインとアウトを繰り返し、最終的なセットアップの煮詰めを実施した。このセッションのベストタイムも、午前中とほぼ同様の 1 分 38 秒 137。順位も 19 番手だった。

2018 年の AUTOBACS SUPER GT シリーズに参戦するエントリーが一堂に会することになった 2 回目の公式テスト。K-tunes Racing LM corsa はタイムを狙うことはせずに、あくまで開幕戦や同じ富士スピードウェイで実施される第 2 戦のレースを想定してのプログラムに徹した。先日の岡山国際サーキットでの公式テストに比べて、順位としては下がっているが、それでも開幕戦に向けて良いセットアップが見つかったという。

開幕戦の岡山国際サーキットラウンドは、チームの初陣に加えて地元での開催となる。多くの応援団も駆け付ける予定となっているので、チーム一丸となって好成績を狙いにいく。



Team Comment



Director : 影山 正彦

4回のセッションとも、上位のリザルトを狙ったわけではないので、他車に対する順位は気にしていません。決勝レースを見据えたシミュレーションでは、課題も見つかりましたが、良い反応もありました。ただ、昨シーズンに対して BoP でリストラクターが絞られています。トップスピードはそれほど変わらないのですが、トップスピードまでの到達時間が遅くなっています。スピードでは苦しくなっているので、良いセットアップを見つけないと好勝負は望めません。前回の岡山国際サーキットと今回のテストを踏まえて、開幕戦に向かいたいと思います。



Driver : 新田 守男

今回のテストは、前回の岡山国際サーキットで実施したことに加えて、富士スピードウェイラウンドを見据えてのアレンジも行ないました。前回は、リアの動きに不満があったのですが、2日間を通して色々なセッティングを試した結果として、良い方向性が見つかりました。これは、開幕戦となる岡山国際サーキットでも通じることなので、ポジティブに考えています。ただ、リストラクター径の縮小で、パワーが出なくなっているのは気掛かりです。開幕戦では、RC F GT3 の長所をさらに伸ばして戦うことが重要になります。

2018 年スーパー GT レーススケジュール

- ▶ 4/07-08 Round1 OKAYAMA
- 5/03-04 Round2 FUJI
- 5/19-20 Round3 SUZUKA
- 6/30-7/01 Round4 THAILAND
- 8/04-05 Round5 FUJI
- 9/15-16 Round6 SUGO
- 10/20-21 Round7 AUTOPOLIS
- 11/10-11 Round8 MOTEGI